

2月定例月議会  
議会報告会  
(動画配信)

産業生活常任委員会

予算常任委員会産業生活分科会

事前質問資料

四日市市議会

# 資 料 一 覧

## ○令和3年度 当初予算議案

- ・市民生活課分室管理運営費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- ・地区市民センター電気自動車配備について・・・・・・・・ P 2
- ・多文化共生推進事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3～4
- ・あさけプラザ施設整備事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・男女共同参画推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- ・防犯外灯新設維持費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・文化会館大規模設備等改修事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- ・こども芸術体験事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- ・市民課事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- ・北勢地方卸売市場再整備のあり方検討業務委託について・・・・・・・・ P 11～13
- ・農業経営収入保険加入促進対策事業費補助金・・・・・・・・ P 14
- ・地域ぐるみ型農業推進事業費補助金・・・・・・・・ P 15
- ・豊かな海づくり推進事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16
- ・高度IT人材育成事業の募集人数について・・・・・・・・ P 17
- ・高度IT人材育成事業の講座にかかる経費について・・・・・・・・ P 18
- ・病院施設大規模改修事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19

## ○令和2年度 補正予算議案

- ・番号制度関連経費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20
- ・あさけプラザ整備事業費（貸館事業）・・・・・・・・ P 21
- ・強い農業・担い手づくり総合支援事業費・・・・・・・・ P 22
- ・肉用牛農家経営安定支援事業費補助金・・・・・・・・ P 23
- ・鳥獣被害防止対策事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24
- ・四日市市プレミアム付食事券事業費補助金・・・・・・・・ P 25

## 市民生活課分室管理運営費

### 1. 目的

市民生活課分室について、利用者の安全性・利便性確保のため、適正な管理運営を行う。

### 2. 内容

- (1) 維持管理に係る経費 1,829千円  
施設を衛生的に保ち、安全に利用できるよう保守委託や小規模な修繕等を行う。

<内訳>

保守点検委託	590千円
清掃委託	185千円
小規模修繕	255千円
その他(光熱水費など)	799千円

- (2) 解体に係る経費 1,900千円  
市民生活課分室は建設後49年が経過し老朽化が進んでいるため、解体に向けた設計業務委託を行う。

<スケジュール>

令和3年度	設計
令和4年度	工事

#### 【施設概要】

所在地：昌栄町21-10  
建設日：昭和46年3月29日  
構造：鉄筋コンクリート造(3階建て)  
敷地面積：1,429 m<sup>2</sup>  
床面積：1,183 m<sup>2</sup>

#### 【利用者状況】

- ・ 占用利用(事務室利用)  
四日市市給食協会、四日市市文化協会、四日市海洋少年団、昌栄町自治会
- ・ 貸館利用

3. 予算額 3,729千円 (財源内訳) その他特財 209千円  
(前年度 2,027千円) (私用電気使用料等)  
一般財源 3,520千円

## 地区市民センター電気自動車配備について

### 1. 車種と積算について

地区市民センターには、現在、地区内の道幅の狭い道でも通行でき、かつ主催行事や選挙事務などでの資材を積載・運搬できるよう、軽キャブバン型の貨物自動車を配備している。

今回、環境への配慮及び災害時の非常電源として電気自動車を配備するにあたり、同様の軽キャブバン型の電気自動車を想定している。

#### 【積算根拠】

対象：現在、地区市民センターに配備の公用車と  
同様の軽キャブバン型の電気自動車

(参考車両) 三菱ミニキャブ・ミーバン

(見積額) 車両本体 2,453,000円

付属品 338,751円 (外付スピーカーなど)

〃 156,933円 (電源供給装置)

諸費用 184,830円 (充電用コンセント設置費、登録費用など)

計 3,133,514円/台 (税込み)



### 2. 購入台数について

現在、地区市民センターには各地区に1台、計24台の軽キャブバンが配備されている。これらについて環境への配慮及び災害時の非常電源として順次、電気自動車に切り替えることとし、令和3年度は10年を経過し、かつ車検を迎える車両10台を対象とする。令和4年度は3台、令和5年度は11台を配備していく。

令和3年度：10台 (四郷・内部・神前・県・八郷・下野・大矢知・河原田・水沢・保々)

令和4年度：3台 (富洲原・川島・桜)

令和5年度：11台 (富田・羽津・常磐・日永・塩浜・小山田・三重・海蔵・橋北・中部・楠)

### 3. 電気自動車の活用例

<避難所等での電力供給の想定>



## 多文化共生推進事業費

### 1. 目的

少子高齢化やグローバル化の進展に伴い外国人市民が増加する中で、国籍や文化的背景の違いを豊かさとして生かし、すべての市民が共に支え合って暮らす「多文化共生社会」の実現を目指す。

### 2. 内容

- (1) 通訳・翻訳対応 6,611千円  
ポルトガル語、スペイン語の通訳者を配置し、必要に応じて市役所内の各窓口での通訳を行うとともに、市が送付する各種通知や案内文書等を多言語に翻訳する。  
・通訳翻訳合計実績 令和元年度 1,901件  
令和2年度 1,514件 (12月末現在)
- (2) 外国人市民向け生活オリエンテーション 2,897千円  
市役所1階市民課前において、行政サービスや日本語学習の必要性など、生活に必要な情報についてオリエンテーションを行う。  
・利用延べ人数実績 令和元年度 1,724人  
令和2年度 1,517人 (12月末時点)
- (3) 【拡充】モバイル端末機遠隔通訳サービス 3,833千円  
13言語以上に対応したモバイル端末機によるテレビ電話通訳サービスを活用し、窓口等における多言語対応を行う。令和3年度は、新たに地区市民センター等5カ所にモバイル端末機を配置する。  
・テレビ電話通訳サービス利用実績 令和元年度 35件 (12~3月)  
令和2年度 118件 (12月末現在)
- (4) 【新規】日本語学習支援等事業 10,761千円  
四日市国際交流センターにおいて、市民ボランティアによる日本語学習支援事業や外国人市民向けの無料行政相談事業等を実施する。令和3年度より新たに地区市民センター等における巡回型日本語学習支援事業を実施する。
- (5) 【拡充】日本語学習支援体制づくり事業 9,382千円  
県や関係機関と連携し、日本語教室ネットワーク会議の開催、日本語学習支援ボランティアの育成、市域を越えた日本語学習支援体制構築に向けた周辺市町への働きかけなど、外国人市民の日本語学習環境を強化するための総合的な体制づくりに取り組む。

(6) 【新規】多文化共生推進プランの改訂 2, 860千円  
入管法改正や日本語教育推進法の成立など、外国人市民を取り巻く状況の変化等を踏まえ、平成28年12月に改訂した多文化共生推進プランの見直しを行う。

(7) その他共生推進事業 1, 156千円  
多文化共生の取組を推進するため、多文化共生推進市民懇談会や多文化共生推進協議会を開催するほか、多文化共生イベント、中学生及びその保護者を対象としたキャリアデザイン講座等を開催する。

<b>3. 予算額</b>	37, 500千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	5, 998千円
(前年度)	14, 306千円)		県支出金 (1/2)	4, 690千円
			一般財源	26, 812千円

## あさけプラザ施設整備事業費

### 1. 目的

施設、設備の長寿命化及び安全性や利便性の向上を図るため、計画的な整備、改修を実施する。

### 2. 内容

- (1) ホール他吊天井耐震化工事 139,000千円  
ホール、ホワイエ、エントランスロビーの吊天井耐震化工事及び音響設備更新工事、ホール客席更新並びに床改修を実施する。
- (2) 照明LED化工事 31,100千円  
展示会議室などの貸館施設及び倉庫等について、照明及び非常照明のLED化工事を実施する。
- (3) 直流電源装置更新工事 15,600千円  
災害等夜間停電時の非常照明の機能を維持するため、耐用年数を経過した電源装置について、更新工事を実施する。
- (4) 調整池浚渫清掃業務委託 22,800千円  
調整池の堆積物（土砂、草木など）を浚渫除去し、貯水機能の維持を図る。
- (5) 施設利用者用Wi-Fi導入業務委託 925千円  
利用者がインターネットを用いた情報入手や双方向通信を行えるよう、展示会議室や学習室にルーター等の整備を行う。
- (6) その他施設整備のための業務委託及び設計業務 16,575千円  
施設、設備の安全性や利便性の維持に向けて、ホール他吊天井耐震化工事に係る工事監理業務のほか、体育館大規模改修や屋内消火栓用配管更新工事などに係る設計業務を行う。

<b>3. 予算額</b>	226,000千円	(財源内訳) 市 債	49,200千円
(前年度	147,600千円)	一般財源	176,800千円

## 男女共同参画推進事業

### 1. 目的

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、そのための施策を推進する。

### 2. 内容

男女共同参画審議会、男女共同参画推進庁内調整会議との調整を図りながら、「男女共同参画プラン 2021～2025」に基づき男女共同参画施策を推進する。

- (1) 男女共同参画審議会、男女共同参画推進庁内調整会議の運営 372千円  
男女共同参画プランに基づき、令和2年度の取り組みを評価するとともに、令和4年度の実施計画を策定する。
- (2) 人材リストの活用による審議会等女性委員の登用推進 54千円  
各種審議会等における女性委員の登用を促進するため、男女共同参画人材リストを整備し、人材情報を提供する。
- (3) ワーク・ライフ・バランスの推進 2,710千円  
各企業、団体によるワーク・ライフ・バランスの取り組み促進に向け、各種企業や団体への出前講座を実施する。  
また、働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上でのさまざまな悩みについて、キャリアカウンセラー等の専門家を相談員とした無料相談を行うとともに、女性活躍を推進するため、子育て等をしながら就職を希望している女性と、子育て期の女性を新戦力として位置づけ受け入れようとする企業とのマッチングの場を設ける。  
このほか、企業等を対象に、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に関する制度や取り組みなどを理解してもらうためのセミナーを開催する。

**3. 予算額** 3,136千円 (財源内訳) 一般財源 3,136千円  
(前年度) 2,841千円



## 防犯外灯新設維持費補助金

### 1. 目的

自治会が管理する防犯外灯の新設・修繕及び撤去にかかる費用、電灯料の負担に対し、その一部を補助することで、地域における防犯力の向上を図る。

令和3年度より、地域における防犯外灯の安定的な維持管理のため、自治会の財政負担軽減を目的として、電灯料補助にかかる補助率を引き上げる。

### 2. 内容

(1) 防犯外灯の電灯料に対する補助 56,526千円

自治会運営にかかる継続性確保の観点から、自治会が維持管理を行う防犯外灯に対するランニングコストの負担軽減を図り、財政基盤強化を図る。

#### 【算出方法】

補助率：75% ⇒ 80%

計算式：6月分の防犯外灯電灯料金 × 12か月 × 80% = 補助金額

(2) 防犯外灯の設置等に対する補助 18,028千円

工事種別 機器区分	新設 (5,000円以上)	修繕 (5,000円以上)		自動点滅器 修繕 (2,000円以上)	撤去
蛍光灯	補助対象外	補助対象外			
LED灯	照度基準ランクLLに該当するLED灯の新設 補助率60% 補助上限額30千円 ただし、専用柱の新設を伴うものは 補助上限額50千円	照度基準ランクLLに該当するLED灯に交換 補助率60% 補助上限額30千円	LED灯の修繕  補助率50% 補助上限額14千円	一律1,000円	補助率60% 補助上限額20千円 (専用柱の撤去を伴うものに限る)
	上記以外のLED灯の新設 補助率60% 補助上限額20千円 ただし、専用柱の新設を伴うものは 補助上限額40千円	上記以外のLED灯に交換 補助率60% 補助上限額20千円			

(3) 事務経費補助 2,618千円

・公益財団法人四日市市文化まちづくり財団

**3. 予算額** 77,172千円 (財源内訳) 一般財源 77,172千円  
(前年度 85,851千円)

**文化会館大規模設備等改修事業**

(文化会館大規模設備等改修事業費)

(文化会館等施設整備事業費(アセットマネジメント))

**1. 目的**

四日市市文化会館は昭和57年の開館以来、38年が経過した施設であり、これまでも吊天井対策工事をはじめ、消防設備の更新、外壁塗装、屋根改修などを実施してきた。今後も施設を安全で良好な状態で管理していくため、照明関連設備と音響関連設備の更新を併せて実施する。また、老朽化した給排水管や空調設備、発電設備等の更新を計画的に行うための基本設計を行う。

**2. 内容**

(1) 文化会館大規模設備等改修事業費 945,100千円

## ・照明設備更新工事

現在使用しているホールの照明設備は、第1ホールは平成10年度、第2ホールは平成12年度に更新を行っている。更新後20年以上経過していて修理部品もなくなっていることから、第1、2ホールの照明設備更新工事を行う。

## ・給排水管改修工事基本設計

老朽化した給排水管(污水管等含む)の改修に向けた基本設計を行う。

(2) 公共施設アセットマネジメント事業費 117,600千円

## ・音響設備更新工事

ホール音響設備は、前回更新から20年が経過し、故障時の迅速な復旧対応が困難であり、操作中の事故も懸念されることから利用者のニーズにあった設備環境に整備し、安心して施設を利用していただけるよう音響設備更新工事を行う。

## ・空調設備等更新工事基本設計

老朽化した空調設備や高圧発電設備などの設備の更新に向けた基本設計を行う。

**3. 予算額** 1,062,700千円 (財源内訳) 市債 606,400千円  
 (前年度 2,420千円) 一般財源 456,300千円

## こども芸術体験事業費

### 1. 目的

乳幼児期から、音楽をはじめとした芸術文化に親しむ機会を設けるため、それぞれの年齢に応じたコンサートや体験・交流する事業を実施することで豊かな人間性の涵養と文化の担い手の育成を図る。

### 2. 内容

(1) はじめてコンサート 1,000千円

乳幼児とその保護者を対象に、プロの演奏家を招き、近い距離で生の音楽を体験できるコンサートを実施する。音楽のジャンルはクラシック、童謡、ポップス、ジャズ、邦楽等、幅広いものとする。

- ・会場 子育て支援センター等乳幼児と保護者の集まりやすい場所
- ・開催頻度 月1回程度

(2) 【新規】音楽交流事業 202千円

プロの演奏家が小学校を訪問し、一緒にリズム遊びや演奏体験を行うなど、子どもたちがともに演奏をする楽しみを学ぶ機会を提供する。(2校程度を予定)

(3) 【新規】ホールコンサート事業 1,798千円

小学生とその保護者を対象に、ホールで演奏会を開催し、コンサートのマナー等を楽しく学びながら、本物の芸術に触れる時間を提供する。

3. 予算額 3,000千円 (財源内訳) 一般財源 3,000千円  
(前年度 1,000千円)

**市民課事業**

**1. 目的**

証明書発行や住民異動届の受付といった窓口業務について、個人情報 の正確な記録と適正な管理を行うとともに、社会保障・税番号制度に基づくマイナンバーカードの交付及び、市民窓口サービスセンターの運営やコンビニ交付サービス等の提供により市民生活の利便性の向上を図る。

**2. 内容**

- (1) 戸籍住民基本台帳事務費 122,941千円  
 窓口や郵送での届出・申請に対する事務処理を正確かつ迅速に行うことができるよう課内体制を整えるとともに、外部委託業者との連携を高め、窓口サービスの向上を図る。
- (2) 戸籍住民基本台帳情報システム運営費 36,418千円  
 住民記録に関連する各種システムを活用して市民課及び地区市民センター間の円滑な業務連携を行い、均一な市民サービスを提供する。
- (3) 市民窓口サービスセンター運営費 6,485千円  
 市民窓口サービスセンターは、休日や夜間にも証明書発行や市税等の収納ができる窓口として、市民の利便性向上に貢献している。今後もチラシや広報よっかいち等で利便性の周知を行う。
- (4) 番号制度関連経費 165,510千円  
 社会保障・税番号制度に基づき、マイナンバーカードの交付申請件数の増加に応じて交付体制を整備し速やかにマイナンバーカードの交付を行うとともに、マイナンバーカードの取得促進に努める。
- (5) コンビニ交付事業費 18,970千円  
 平成31年2月から開始したコンビニ交付サービスを円滑に運用するとともに、一層の利用促進を図るため周知を行う。
- (6) 住居表示管理経費 1,292千円  
 住居表示区域において、建物の住居番号付定により住所の表示を明確にするとともに、街区表示板の更新等、住居番号付定後の管理業務を行う。

<b>3. 予算額</b>	351,616千円	(財源内訳)	国庫支出金(10/10) 164,222千円
	(前年度 231,021千円)		県支出金(10/10) 267千円
			その他特財 391千円
			(個人番号カード再交付手数料)
			一般財源 186,736千円

# 北勢地方卸売市場再整備のあり方検討業務委託について

## 1. 目的

北勢地方卸売市場は三重県内における拠点 3 市場の一つであり、当地域にとって、食の安全・安心の確保、食料品の安定供給といった、農水産物の流通の面で公共的な役割を担っているが、開設から 40 年が経過し、施設の老朽化対策が必要となってきた。そのため、関係 3 市（桑名市・四日市市・鈴鹿市）で協議を行い、令和 2 年度は本市場の役割、機能強化などの方向性、将来の需要・供給予測を踏まえた本市場の方針について検討するための基礎調査を実施しており、令和 3 年度は、基礎調査結果を受け、市場関係者等との市場のあり方検討会の開催等、施設の再整備に向けた考え方を整理していく。

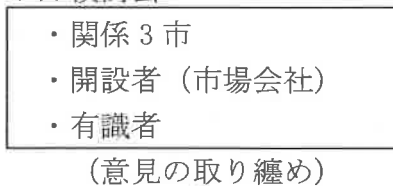
## 2. あり方検討の概要

### ○委託業務内容

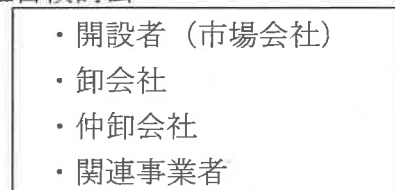
- ・ 関係 3 市、開設者（市場会社）、市場関係者との意見交換
- ・ 市場としての経営展望の確立に向けた検討
- ・ 施設整備の他事例の研究
- ・ ビジネスモデルの実現に向けた具体策の検討

### ○検討体制

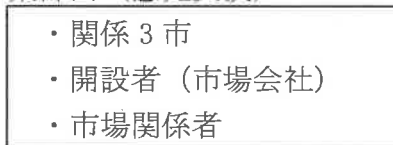
#### あり方検討会



#### 経営検討会



#### 作業部会 (意見交換)



**3. 予算額** 8,000千円  
(前年度 8,800千円)

(財源内訳) その他特財 3,840千円  
(北勢地方卸売市場関係事業費負担金)  
一般財源 4,160千円

## ＜参考＞令和2年度北勢地方卸売市場基礎調査業務の結果概要

調査実施者：(株)流通研究所

### 【主な調査項目】

#### 1. 基礎調査・分析及び問題点の抽出(外部環境)

消費構造の変化：単身世帯の増加、加工品・外食の消費が増加

市場外取引の増加

農林水産業生産者の減少

県内3市場の状況：青果は北勢、三重県が拮抗、水産は3市場が拮抗

卸売市場法の改正

#### 2. 市場機能の現状と関係事業者の経営状況把握(内部環境)

施設の利用状況：場所によるが50%程度のところが多い

関係事業者の経営状況：青果の44%、水産の55%が売り上げ減少

販売先：北勢地域内が約80%

県内他市場への転送：約10%

#### 3. 経営展望(ビジネスモデル)の策定

取扱数量予測：10年後 青果74%、水産35%になる

適正規模推計：現在の約50%

川上へのヒアリング：物流センターや加工場、集荷拠点への期待

川下へのヒアリング：県内産商品の提案強化、コールドチェーンの確保

施設の再整備の手法の検討：民間資本活用のための可能性比較、事例研究

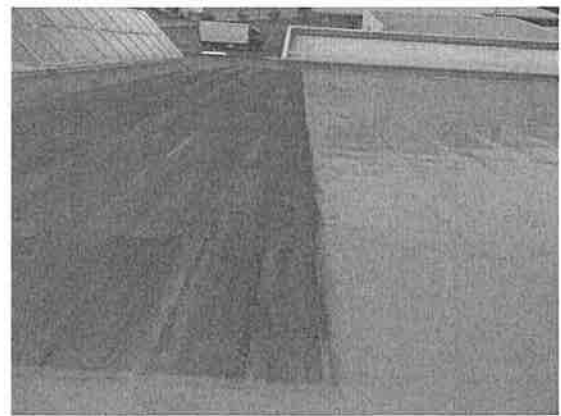
#### 4. まとめ、今後の取り組み課題

今後の戦略をハード面、ソフト面に分け、その具体的な取り組みについて、市場関係者からの意見も踏まえて検討していく。

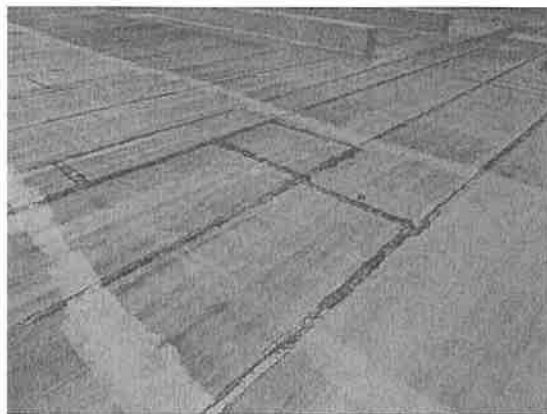
北勢地方卸売市場 屋上防水工事修繕計画一覧表

場所	内 容	屋根構造	数量	概算工事費	優先 順位
			m <sup>2</sup>	千円(税込)	
青果棟	卸売場屋上防水工事	ALC造(軽量コンクリート)	2,000	23,800	◎
	事業者事務所屋上防水工事	RC造(コンクリート)	2,500	29,700	◎
	仲卸店舗屋上防水工事	RC造(コンクリート)	3,100	36,900	
中央棟	管理事務所屋上防水工事	RC造(コンクリート)	600	7,200	○
	関連店舗屋上防水工事	RC造(コンクリート)	1,028	12,300	○
水産棟	卸売場屋上防水工事	ALC造(軽量コンクリート)	4,000	47,600	△
	事業者事務所屋上防水工事	RC造(コンクリート)	2,100	25,000	△
	仲卸店舗屋上防水工事	RC造(コンクリート)	2,135	25,400	
北守衛所	屋上防水工事	RC造(コンクリート)	192	2,300	
旧水産倉庫棟	屋上防水工事	折板	473	5,700	
旧パナ加工棟	屋上防水工事	RC造+折板	418	5,000	
汚水処理場棟	屋上防水工事	RC造(コンクリート)	450	5,400	
合 計				226,300	

1 青果棟卸売場 屋上防水現状写真



2 青果棟事業者事務所 屋上防水現状写真



新型コロナ  
対応

## 農業経営収入保険加入促進対策事業費補助金

(農産物の生産及び流通対策事業費)

### 1. 目的

新型コロナウイルス感染症の影響など、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに備えるため、農業者の収入減少を補填する「農業経営収入保険※」(以下「収入保険」という。)への加入を緊急的に促進し、農業経営の安定化に資するための支援を図る。

※収入保険：保険期間の生産・販売する農作物の販売収入が、青色申告による基準収入を下回った場合に、下回った額の9割を上限に補填される。対象作物は、米、野菜、果樹、花、茶など農作物全般。

### 2. 内容

市内に住所を有する個人又は法人(本店又は主たる事務所を市内に有すること。)に対して、令和3年1月1日から令和5年12月31日までに加入する収入保険の保険料及び付加保険料の1/2以内(上限金額100千円)を補助する。

3. 予算額 5,500千円 (財源内訳) 一般財源 5,500千円  
(前年度 0千円)

担当 商工農水部 農水振興課



## (新) 地域ぐるみ型農業推進事業費補助金

### (地域農業づくり支援対策事業費)

#### 1. 目的

農家の高齢化や後継者不足により、農地や取水施設など地域の農業資源の維持・管理が難しく、その対策が喫緊の課題となっている中、持続可能な農業を実現するためには、地域が主体となって農地の集積や農業用施設の維持・管理について話し合い、計画的に進めて行く必要がある。具体的には、耕作を担っていく農家は誰か、農地を効率的に活用するためにどのように農地集積を図るか、取水施設や農道などの農業資源をどのように管理・保全していくかなどについて、基本的な計画を策定し地域が一体となって農業に取り組んでいくことが必要である。

そこで、地域で主体となって効率的かつ安定的な農業経営の構築に向けた計画を作成している農家が組織する団体に対し、その活動を持続可能なものとすべく、その計画の実施に伴う営農や農地の維持管理を行う際の、機械や施設の整備にかかる経費の一部を補助金として交付する。

#### 2. 内容

○交付対象者：農家が組織する団体

○交付要件：代表者、規約、活動範囲、実質化された人・農地プランが定められていること

○補助の内容：補助率を補助対象経費の2分の1とする。

上限金額を1,000千円、下限金額50千円とする。

3. 予算額 2,000千円 (財源内訳) 一般財源 2,000千円

担当 商工農水部 農水振興課

**豊かな海つくり推進事業費**

**1. 目的**

ガザミの種苗放流等を行い、獲る漁業から作り育てる漁業への取組みを推進し、水産資源の確保及び沿岸漁業の振興を図る。

**2. 内容**

沿岸漁業の対象魚種であるガザミの種苗放流及び抱卵ガザミの再放流を行って、水産資源の確保を図る。また、この種苗放流事業は、愛知県を含む伊勢湾沿岸の各地で放流されていることから、伊勢湾全体の水産資源の増大に資する。

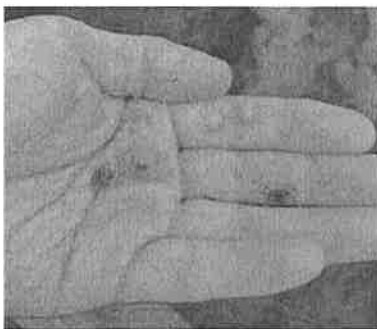
[種苗放流実績]

(単位：尾)

魚種	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
ガザミ	171,000	117,000	360,000	146,000	222,000
抱卵ガザミ	—	—	—	1,092	1,610
ヨシエビ	519,200	580,000	563,800	596,100	689,100

(昨年度まで実施していた「ヨシエビ」の種苗放流については、三重県による種苗生産が終了したことに伴い、令和3年度は中止する。)

ガザミ種苗



抱卵ガザミ



**3. 予算額** 1,200千円  
 (前年度 1,200千円)

(財源内訳) 一般財源 1,200千円

## 高度 IT 人材育成事業の募集人数について

### 1. 講座開催概要

講座については、年齢層等3層に分けて開講する。

(1) 年齢層またはスキルレベル別

(例) 年齢層別 ①20～34歳 ②35～49歳 ③50歳以上

(2) 講座回数 1講座あたり3回連続講座

(3) 講座開講時期 年3回

(4) 募集人数 各層10名ずつ計30名×年3回=90名

### 2. 募集人数

講座については、受講者自らパソコンを用いてアプリ等を作成していただく形での開講を予定している。そのため、個人のスキルレベル等により講座内容のスピードについていくことが難しくなるケースが想定されるため、講師及び講師補佐が各受講者に対し個別に指導を行う。

きめ細かな指導を行うためにも講師等1名あたり受講者約3名～4名とし、講師1名及び講師補佐2名の計3名で対応することから、各回受講者10名までとしている。

#### 【参考】令和2年度パイロット講座

- ・講座名 四日市市クラウドアプリ開発入門講座
- ・講座内容 年齢層別に分かれて、アプリを作成
- ・講座開講期間 令和2年11月10日(火)～令和2年11月19日(木)  
上記期間中、各年齢層について2日間開催
- ・受講料 無料
- ・受講人数

	募集人数	応募人数	受講決定人数
20～34歳	10名	17名	10名
35～49歳	10名	36名	10名
50歳以上	10名	30名	10名
合計	30名	83名	30名

## 高度 IT 人材育成事業の講座にかかる経費について

### 1. 事業経費内訳

事業経費の内訳として、教材費（作成含む）、講師人件費（講師補佐含む）、会場使用料及びアプリ作成時に使用するライセンス整備費用、受講者へのフォローアップ、その他経費が含まれている。

### 2. 講座にかかる経費について

講座受講人数は、90名（1回あたり各層10名ずつ計30名が参加する講座を年3回開催）であり、1人あたりの経費に換算すると、以下のとおりとなる。

8,000千円÷90名=約89,000円/名

・参加費 5,000円（求職者を除く）

<講座受講人数>

層別	1回目	2回目	3回目	計
A層	10名	10名	10名	30名
B層	10名	10名	10名	30名
C層	10名	10名	10名	30名
計	30名	30名	30名	90名

**1. 目的**

昭和53年の移転新築以来、未改修のままである施設について、病院運営を継続していく上で必要な老朽化対策を行うとともに、患者にとって安全、安心で快適な医療環境と、医療従事者にとっても働きやすい労働環境の整備を行う。

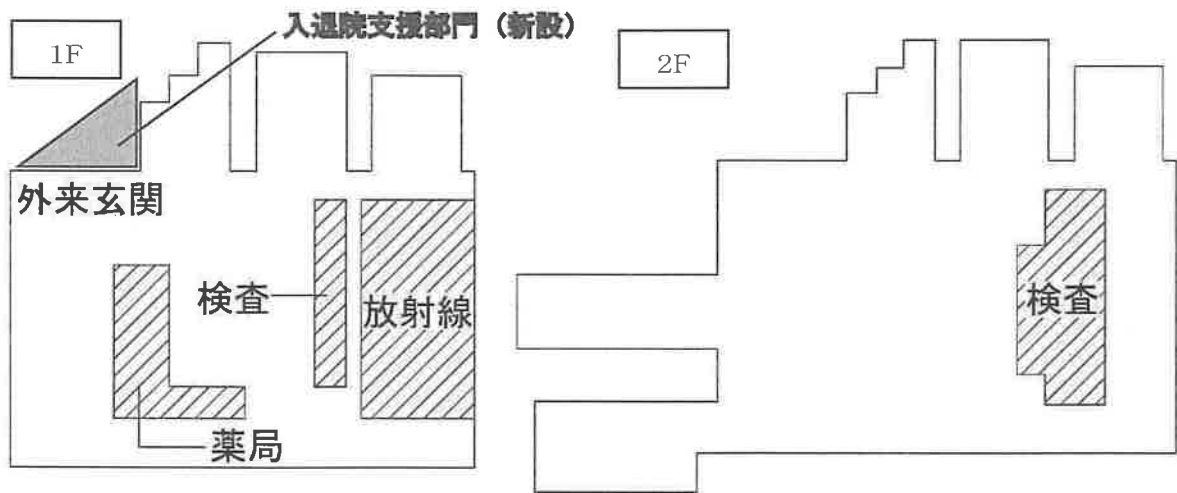
**2. 内容**

未改修のままである老朽化した配管・配線類をはじめとする機械・電気設備のインフラの更新等に併せて、未改修となっている薬局、中央検査室、中央放射線室の3部門の改修工事等を行うとともに、入退院支援部門を新設する。これに伴い、令和2年度の基本計画・基本設計に引き続き、実施設計を行う。

・病院施設大規模改修事業に係る実施設計業務委託費 99,000千円

**3. 予算額** 99,000千円 (財源内訳) 企業債 80,000千円  
 (前年度 95,000千円) 自己財源 19,000千円

【未改修部分等位置図】



【事業スケジュール】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
基本計画・設計	↔						
実施設計		↔					
工事			←————→				

担当 市立四日市病院施設課

## 番号制度関連経費

### 1. 目的

マイナンバーカードを申請した市民に対するカード受取りについての案内文書（交付通知書）の送付及び申請時来庁方式や出張申請受付方式にてマイナンバーカードの申請を行った市民に対するカードの送付を行う。

また、市が地方公共団体情報システム機構（J-LIS）に対して委任している個人番号通知書・個人番号カード関連事務等に要する費用に相当する金額について、委任に係る交付金を支払う。

### 2. 内容

マイナンバーカードの申請件数及び交付件数の急増などにより、郵便料と個人番号通知書・個人番号カード関連事務の委任等に係る交付金の決算見込額が当初予算額を上回るため、不足分について増額補正を行う。

（単位：千円）

	当初予算額	決算見込額	差引額
郵便料	3,741	12,373	8,632
交付金	33,636	122,949	89,313
計	37,377	135,322	97,945

### 3. 補正予算額

97,945千円 （財源内訳）国庫支出金(10/10) 97,945千円

**あさけプラザ整備事業費（貸館事業）**

**1. 目的**

開館後36年が経過する施設、設備の老朽化等に対応し、安全性、快適性の確保に向けて必要な改修を行い、施設の円滑な管理、運営に取り組む。

**2. 内容**

ホール等吊天井崩落対策ほか工事をはじめとする経費について、入札差金により建設事業関係委託料及び新設・改良工事費が当初の見込みを下回ったため、減額補正を行う。

また、令和2年度から令和3年度にわたるホール等吊天井崩落対策ほか工事について、受注者より工事が完了する令和3年度に一括して工事費請求するため、令和2年度の前払金及び出来高払の請求を辞退する旨の申し出があったことから、令和2年度に支出を予定していた前払金及び出来高払について、令和3年度への繰り越しを行う。

（単位：千円）

事業内容	当初予算額 (A)	支出見込額 (B)	差引額 (B) - (A)
あさけプラザ整備事業費 (貸館事業)	147,600	112,600	△35,000

**3. 補正予算額**

△35,000千円  
 (財源内訳) 市債 △50,900千円  
 一般財源 15,900千円

**4. 繰越明許費**

85,130千円  
 (財源内訳) 市債 30,100千円  
 一般財源 55,030千円

## 強い農業・担い手づくり総合支援事業費

### 1. 目的

農業従事者の減少と高齢化が進む中、農業の持続的発展を図りつつ、意欲ある経営体の育成・確保を図るため、適切な人・農地プラン※に位置づけられた地域の中心経営体が行う施設・機械整備にかかる経費の一部を補助する。

※人・農地プラン：高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」の解決に向けて、中心となる経営体、農地の集積、地域農業のあり方など、集落・地域の話し合いによって作成する「未来の設計図」となるプラン

### 2. 内容

○補助金額：事業費の3/10以内の額もしくは融資残額のいずれか低い額  
(上限金額3,000千円)

○補正予算計上の理由

当該事業の国の採択基準が高く、事業採択がなされなかったことから、全額減額補正を行う。

当初予算額	決算見込額	補正予算額
10,000千円	0円	△10,000千円

### 3. 補正予算額

△10,000千円 (財源内訳) 県支出金(10/10) △10,000千円



**肉用牛農家経営安定支援事業費補助金**

**1. 目的**

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、牛肉の中でも高級な黒毛和牛の枝肉価格が低迷し、肉用牛農家の経営に大きな影響が生じていることから、同価格の一部等を支援することによって、持続可能な黒毛和牛の生産を推進する。

**2. 内容**

新型コロナウイルス感染症の影響によって高級食材である黒毛和牛の販売は苦戦が強いられ、市場価格の下落が顕著であったが、本支援事業による四日市市食肉地方卸売市場の活性化、国によるGO TO キャンペーンや巣ごもり需要等の効果によって、和牛の市場価格が回復基調にある。そのため、補助金の交付対象頭額が当初の見込みを下回ったことから、減額補正を行う。

6月補正予算額                      決算見込額                      補正予算額  
 20,000千円                      12,850千円                      △7,150千円

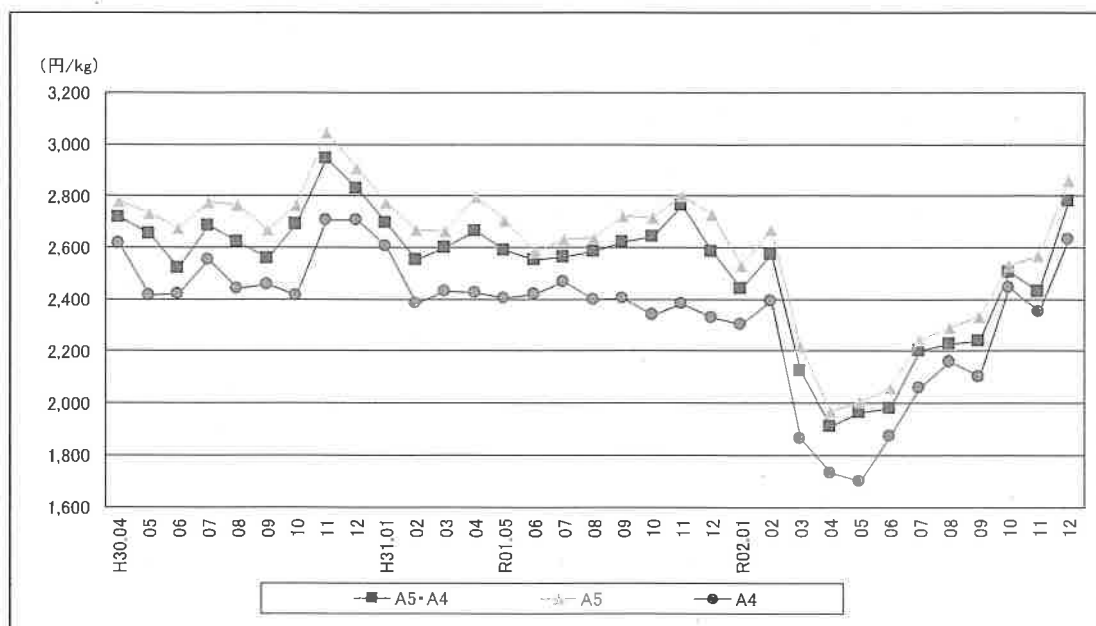
(1) 交付対象期間

令和2年7月3日～令和2年12月31日

(2) 交付実績

	生産者	買受人
交付対象者数	5	8
交付対象頭数	83	104

(3) 四日市市食肉地方卸売市場における上場価格の推移



**3. 補正予算額**

△7,150千円                      (財源内訳) 一般財源    △7,150千円

## 鳥獣被害防止対策事業費

### 1. 目的

サル、イノシシ、シカなどの有害鳥獣による農作物への被害が依然として続いていることから、地元自治会や猟友会等と連携し、捕獲・追い払いを図るとともに、防護柵などの設置経費や自治会等による自主的な追い払い活動への支援と合わせて、地域ぐるみの総合的な被害防止対策の強化を推進する。

### 2. 内容

農家組合等に支援している防護柵などの補助件数が当初の見込みより下回り、また、猟友会に委託している有害鳥獣捕獲業務委託についてイノシシ、シカの捕獲頭数が、当初計画していた見込みを下回るため、減額補正を行う。

当初予算額	決算見込額	補正予算額
32,282千円	28,282千円	△4,000千円

	当初計画（頭数）	実績見込（頭数）
イノシシ	437	194
シカ	223	62

### 3. 補正予算額

△4,000千円	(財源内訳) 一般財源	△4,000千円
----------	-------------	----------

新型コロナ  
対応

## 四日市市プレミアム付食事券事業費補助金 【各部局補正予算説明資料再掲】

### 1. 目的

四日市商店連合会を中心とする市内の関係団体が市内の飲食店を支援するため、クラウドファンディングを利用した「オール四日市！飲食店応援『さきめし券』プロジェクト」を立ち上げたことに伴い、市として関係団体への補助を行う。

### 2. 内容

令和2年12月31日にプレミアム付食事券の使用期間が終了し、事業費等の見込みが確定した結果、予算現額を上回ったため、増額補正を行う。

#### プレミアム付食事券関係経費

	①予算現額	②所要額見込	補正額 (差引②-①)
事業費 (プレミアム分)	105,000千円	107,859千円	2,859千円
事務費	28,000千円	65,698千円	37,698千円
計	133,000千円	173,557千円	40,557千円

### 3. 補正予算額 40,557千円 (財源内訳) 一般財源 40,557千円

(参考)

- (1) 応援総額 合計 302,111,000円  
(食事券分 299,606,000円 寄附額 2,505,000円)
- (2) 応援者数 14,369人  
(市内 11,216人 県内(市外) 2,606人 県外 547人)
- (3) 登録店舗数 517店